

平成 28 年度福山少年自然の家における体験活動指導者研修

- 1 日 時 平成 28 年 5 月 30 日 (月) 午前 9 時 30 分から午後 4 時 30 分まで
平成 28 年 6 月 27 日 (月) 午前 9 時 30 分から午後 4 時 30 分まで
- 2 場 所 県立福山少年自然の家
- 3 受 講 者 1 回目 14 人 (申込者 15 人, 欠席 1 人)
2 回目 15 人 (申込者 18 人, 欠席 3 人)
- 4 講座内容 人間関係づくり講座



活動初期段階に効果があるアイスブレイクの様子 (表情の変化に注目！)



アイスブレイクの様子



TPシャッフル



次の課題を待っている時の様子



課題解決ゲームの実際



アイランズ



ヘリウムフープ



B e i n g を使って振り返り

5 受講者の事後アンケート結果 ※ 次の項目のうち、(2)、(3)、(4)についてまとめる。

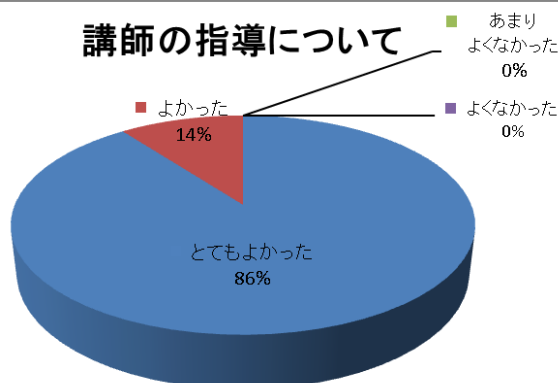
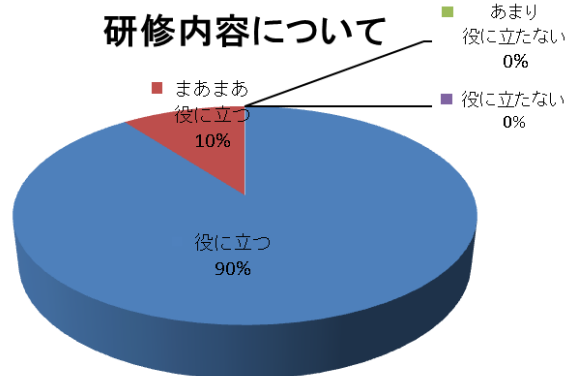
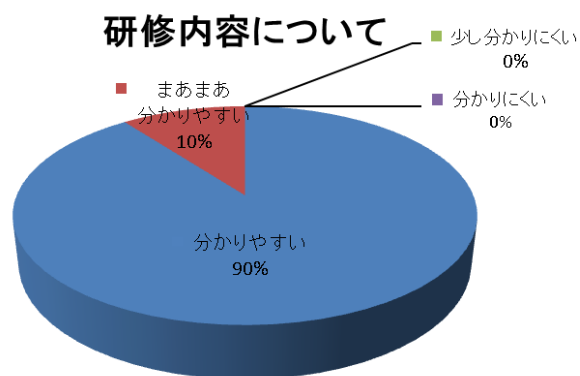
事後アンケートの設問項目は、次の5項目で行った。

- (1) この研修に参加しようと思った動機及び自分自身の目標達成度 (%) 【自由記述】
- (2) 研修内容（プログラム）に対する評価 【4段階評定及び自由記述】
- (3) 講師の指導に対する評価 【4段階評定及び自由記述】
- (4) 研修で得たことはどんなことか 【自由記述】
- (5) 研修についての改善点や意見（時期、会場、内容、時間、その他） 【自由記述】

(※ 4段階評定：①とてもよかった、②よかった、③あまりよくなかった、④よくなかった)

<(2)、(3)の4段階評定結果>

設問項目	分かりやすい	まあまあ分かりやすい	少し分かりにくい	分かりにくい	肯定的評価の割合 (とてもよかった、よかった等)
研修内容(プログラム)に対する評価	26人	3人	0人	0人	100%
	役に立つ	まあまあ役に立つ	少し分かりにくい	分かりにくい	100%
	26人	3人	0人	0人	
設問項目	とてもよかった	よかった	あまりよくなかった	よくなかった	100%
講師の指導に対する評価	25人	4人	0人	0人	



6 成果と課題

- アンケートによる研修内容（プログラム）に対する評価項目には「主体的な学びが理論だけでなく、活動を通して実感することができました」「現在の子供たちの実態と、これからの世の中の動きを考えると、とても大切な内容だと思った」とあった。

受講者は、ファシリテーターの言動や立ち振る舞いから「主体的な学び」に必要な手法を感じ取ることができ、今後の指導に手応えを掴むことができた。

- アンケートの研修で得たことの記入欄には「子供たちに指示を出すのではなく、自ら課題を持ち、取り組ませるための促し役をしなければならないと感じた」「どうしても、こちらが目標を設定しがちですが、子供たちに判断させたり思考させたりする勇気と余裕を持つことが大切だと思いました」とあった。

指導者側で色々なことを設定してしまう場面が多いが、この研修を通して、子供たちに合意形成を図らせることの大切さに気付いた意見が多くみられた。

- アンケートの研修で得たことの記入欄には「体験を通して学ぶということは、体験後の振り返りが大切であるということや、その振り返りは日常生活に還元しなければあまり意味がないということを学びました」「体験や行事と日常を繋ぐような視点を、改めて意識することができました。振り返りシートの学校における活用についても、さらに考えていこうと思います」とあった。

受講者は、活動後の振り返りの手法を体験し、今回の学びをこの場限りで終わらせるのではなく、日常生活に繋げることへの大切さが理解できた。

- 受講者の声には「実際にファシリテーションを実践して、フィードバックをもらいたい」「このような研修があればまた参加してみたい」とあり、更にステップアップに繋がる研修を計画し、内容を充実させていく必要がある。

<自由記述の主な内容>

研修内容（プログラム）に対する評価	
肯定的意見	○ 主体的な学びが理論だけでなく、活動を通して実感することができました。 ○ 現在の子供たちの実態と、これからの世の中の動きを考えると、とても大切な内容だと思った。 ○ 実際に体験してみて、気持ちの変化や難問にチャレンジしていく意欲など、子供たちも感じるであろう心の動きを実体験できたので、明日からの教育活動に生かしていきたいと思いました。 ○ 活動後に振り返りの場を持たせ、一人一人の振り返りでだけでなく、グループ全体でお互いの意識を合わせる場を持たせる大切さを学ぶことができました。 ○ ファシリテーターとして、どのような声のかけ方、プログラムの流し方をすれば良いのか、実際に見ながら学ぶことができたので大変分かりやすかった。また、自分が体験することで、体験する側の気持ちなども考えることができた。 ○ 全ての活動において参加者の意志決定があり、目標達成のために自分たちが何をすれば良いのか、しっかりと考えることができた。みんなが同じ目標を共有している人だからこそ、楽しく学べることができた。 ○ チームとして協力の大切さを実感できる内容で、これから学校に持ち帰り、早速活用していきたいと思いました。 ○ 1日だけの研修なのに、信頼感が得られるような人間関係を築けました。課題解決のために必要な意見は、プログラムだけでなく、日常生活に活かします。

研修で得たことはどんなことか	
	○ 人間関係づくり講座では、主体的な学びをつくっていく上での理論と手法を学んだので、学校での指導のあらゆる場面で活かしていきたい。 ○ 子供たちに指示を出すのではなく、自ら課題を持ち、取り組ませるための促し役をしなければならないと感じた。また、仕事上成長していくための事や学級経営など、自分自身の生活にも生かせる理論も学ぶことができた。 ○ どうしても、こちらが目標を設定しがちですが、子供たちに判断させたり思考させたりする勇気と余裕を持つことが大切だと思いました。見えない部分の成長を見て、きちんと伝えられるようになりたいです。 ○ 問題解決学習において、児童が達成することのできるギリギリのラインで課題を設定することや児童自身で解決できるよう余計な手だしをしないことです。 ○ 体験を通して学ぶということは、体験後の振り返りが大切であるということや、その振り返りは日常生活に還元しなければあまり意味がないということを学びました。 ○ 体験や行事と日常を繋ぐような視点を、改めて意識することができました。振り返りシートの学校における活用についても、さらに考えていこうと思います。 ○ 体験から学んだことを、可視化することの大切さを感じました。どうして達成できたのかを考えさせることによって、共通理解をすることが大切であると感じた。職務でも使えると思います。 ○ お互いの違いを認め合える学習環境にしていけることが大切であるということです。このことを、学級経営でも山海島体験活動でも生かしていこうと思います。 ○ 答えのない課題に挑戦するときの感覚と、課題を達成するときには雰囲気がとても重要だということです。職員室でも同じように考えていきたい。

講師の指導に対する評価	
肯定的意見	○ 活動後の振り返りの場で、グループ全員が一つの言葉のイメージをきちんと持つことができるような言葉かけについて学ぶことができました。 ○ 課題に対して妥協させないフェアの精神が一貫していたので、達成した時の喜びが大きかった。指導者の側で妥協をすることは、むしろ児童の主体性を削いでいることが分かった。 ○ ファシリテーターとして、私たちを見守りながら、その都度適切にアドバイスをしてくれました。 ○ ファシリテーターとして、参加者の学びを邪魔しない立ち位置や言葉かけなど、とても参考になりました。 ○ ファシリテーターとしての位置や声かけのタイミングなど、学ぶことがありました。理論としても分かりやすい説明が良かったです。 ○ 指示が簡潔で的確でした。自分もそのようになりたいと思います。 ○ 自分たちで課題を解決していけるように導いてくれる存在でした。体験型の研修のプログラムだったので、身を持って体で覚えました。そして後から頭で理解しました。 ○ グループに考えさせ、活動後に振り返らせる一連の活動を提示し「なぜ」「どうして」などの、より深めていく発問をされていた。 ○ 自分たちで考え、自己決定する場を多く設定してくださいました。また、話し方がすいこまれるような感じでした。